

第40期中間株主通信

平成18年4月1日から
平成18年9月30日まで

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
同総会権利行使株主基準日	3月31日
剰余金受領株主基準日	3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.consec.co.jp) に掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同取次所	TEL0120-094-777 (通話料無料) 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
単元未満株式の買取請求および売渡請求	単元未満株式の買取請求および売渡請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所および取次所にて受付けております。 なお、株式会社証券保管振替機構をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出下さい。

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)

電話 (通話料無料) 0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

CONSEC 株式会社コンセック

時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結財務情報	3
単独財務情報	4
連結財務データ	5
会社の概況	6

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに当社第40期中間期における株主通信をお届けし、その概況につきましてご報告をかね、ご挨拶を申し上げます。

当中間期における我が国の経済は、企業収益の改善を背景に民間設備投資が増加傾向にあり、個人消費需要も上向き、雇用情勢も良化してまいりました。土地価格の下落にも歯止めが窺え、住宅着工件数も上昇傾向に推移するなど、総じて景気は緩やかに拡大してまいりました。

当社グループの関連する土木建設業界におきましては、依然として公共工事の低迷が続いておりますが、解体工事分野においては民間設備投資拡大により、最新の設備や建物へ切替える積極的な企業が増加し明るさが見えてまいりました。一方、スピードと安全性はより高度な技術レベルが必要となり、需要獲得競争はさらに激しくなりました。

このような中、当社グループといたしましては、解体切断専門工事への特化を推進し、工事技術を強化してまいりました。また、中国子会社による低価格・高性能ダイヤモンドドリル製品の開発生産の充実をはかり、競合商品の差別化と新規需要の浸透をはかってまいりました。

自動制御盤・配電盤製作販売と介護サービス事業は順次拡大しております。新たにコンピューターソフト受託開発会社を連結企業に加え、IT技術を連携させた商品開発を自社グループで補完できる環境を整備いたしました。

その結果、当中間期の決算概況は以下のとおりとなりました。

	〔第40期中間期〕	〔第39期中間期〕	〔前年同期比〕
売上高（連結）	4,850百万円	4,512百万円	107.5%
営業利益（連結）	25百万円	34百万円	74.6%
経常利益（連結）	18百万円	73百万円	24.1%
中間純利益（連結）	0百万円	△481百万円	—

（注1）中間純利益は前中間期がマイナスのため対前年同期比を表示しておりません。
（注2）百万円未満の金額については四捨五入によっております。

売上高におきましては4,850百万円（前年同期比107.5%）となりました。損益面におきましては、徹底したコスト低減と営業費用の削減を推進しましたが、新人事制度の導入や新規事業の初期投資等の影響を吸収するには至らず、営業利益は25百万円（前年同期比74.6%）、経常利益は18百万円（前年同期比24.1%）にとどまり、中間純利益は0百万円（前年同期は4億81百万円の純損失）となりました。

部門別の売上高は次のとおりです。

	〔第40期中間期〕	〔第39期中間期〕	〔前年同期比〕
切削機具事業	1,693百万円	1,662百万円	101.9%
特殊工事業	556百万円	572百万円	97.1%
建設・生活関連品事業	1,961百万円	1,846百万円	106.2%
その他の事業	640百万円	432百万円	148.1%
合計	4,850百万円	4,512百万円	107.5%

（注）百万円未満の金額については四捨五入によっております。

以上により、株主の皆様のご支援にそうよう鋭意努力してまいりましたが、誠に不本意ながら中間配当金につきましては、実施を見送らせていただきたいと存じます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

下半期の見通しにつきましては、北朝鮮問題など中国を中心にした近隣諸国との社会経済情勢に懸念がありますが、国内の景気は積極的な企業投資に支えられ、引き続き緩やかに拡大するものと思われます。原油価格上昇による商品価格の値上げ転嫁が進行する中、受注競争はますます厳しくなると思われますが、当社グループとしましては、中国子会社生産による徹底したコストダウンをはかるとともに、公共建物から民間施設に広がってきた耐震補強リニューアル工事等の民間需要に対処し、シェアの拡大と利益改善に全力で取り組むとともに、IT技術も加えたグループ企業の相乗効果を高め、総合的に収益体質を向上させてまいります。

管理面においても新人事制度導入による組織活性化を促進し、利益効率経営に全力をあげてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成18年12月



代表取締役社長

佐々木 孝隆

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)	(平成18年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産		5,758	5,463	5,444
固定資産		6,802	6,833	6,762
資産合計		12,560	12,296	12,205
(負債の部)				
流動負債		3,875	3,350	3,464
固定負債		663	912	662
負債合計		4,538	4,262	4,126
少数株主持分		—	37	66
(資本の部)				
資本金		—	4,090	4,090
資本剰余金		—	4,352	4,352
利益剰余金		△ 23	△ 349	△ 373
株式等評価差額金		△ 52	△ 45	△ 6
自己株式		△ 50	△ 2	△ 1
負債、少数株主持分及び資本合計		—	7,997	8,013
負債、少数株主持分及び資本合計		—	12,296	12,205
(純資産の部)				
株主資本		7,981	—	—
資本剰余金		4,090	—	—
利益剰余金		3,965	—	—
自己株式		△ 52	—	—
評価・換算差額等		△ 50	—	—
その他の有価証券評価差額金		△ 50	—	—
為替換算調整勘定		91	—	—
少数株主持分		—	—	—
純資産合計		8,022	—	—
負債及び純資産合計		12,560	—	—

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		305	67	372
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 163	△ 54	△ 130
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 54	172	△ 87
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 1	2	5
現金及び現金同等物の増減額		87	188	159
現金及び現金同等物の期首残高		746	586	586
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高		832	774	746

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		
平成18年3月31日残高	4,090	4,352	△ 373	△ 51	8,018	△ 6	1	66	8,079
中間連結会計期間中の変動額									
剰余金の配当		△ 37			△ 37				△ 37
剰余金の振替		△ 350	350		—				—
中間純利益			0		0				0
自己株式の取得				△ 1	△ 1				△ 1
自己株式の処分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 44	△ 1	25	△ 20
中間連結会計期間中の変動額合計		△ 387	350	△ 1	△ 37	△ 44	△ 1	25	△ 57
平成18年9月30日残高	4,090	3,965	△ 23	△ 52	7,981	△ 50	1	91	8,022

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
売上高		4,850	4,512	9,532
売上原価		3,803	3,497	7,386
売上総利益		1,047	1,015	2,145
販売費及び一般管理費		1,021	981	1,921
営業利益		25	34	224
営業外収益		34	55	110
営業外費用		42	16	29
経常利益		18	73	306
特別利益		0	20	52
特別損失		0	539	547
税金等調整前中間(当期)純利益		18	△ 446	△ 189
法人税、住民税及び事業税		21	24	45
法人税等調整額	△	15	11	266
少数株主利益		11	△ 1	4
中間(当期)純利益		0	△ 481	△ 505

中間連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期	前期
		(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高		4,352	4,352
資本剰余金増加高		0	0
資本剰余金中間期末(期末)残高		4,352	4,352
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		168	168
利益剰余金減少高		517	542
利益剰余金中間期末(期末)残高	△	349	△ 373

中間単独貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期	前中間期	前期
		(平成18年9月30日現在)	(平成17年9月30日現在)	(平成18年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産		5,082	5,009	5,005
固定資産		6,843	6,830	6,782
資産合計		11,924	11,840	11,788
(負債の部)				
流動負債		3,492	3,003	3,171
固定負債		506	816	584
負債合計		3,999	3,819	3,755
(資本の部)				
資本金		—	4,090	4,090
資本剰余金		—	4,352	4,352
利益剰余金		△ 326	△ 350	△ 350
株式等評価差額金		△ 46	△ 9	△ 9
自己株式		△ 50	△ 51	△ 51
資本合計		—	8,021	8,032
負債及び資本合計		—	11,840	11,788
(純資産の部)				
株主資本		7,978	—	—
資本金		4,090	—	—
資本剰余金		3,965	—	—
利益剰余金		△ 26	—	—
自己株式		△ 52	—	—
評価・換算差額等		△ 52	—	—
その他の有価証券評価差額金		△ 52	—	—
純資産合計		7,925	—	—
負債及び純資産合計		11,924	—	—

中間単独株主資本等変動計算書

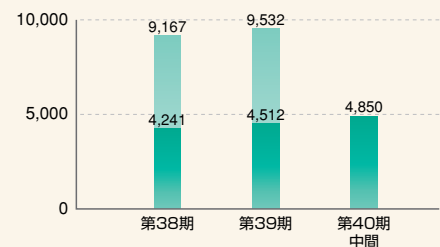
当中間会計期間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

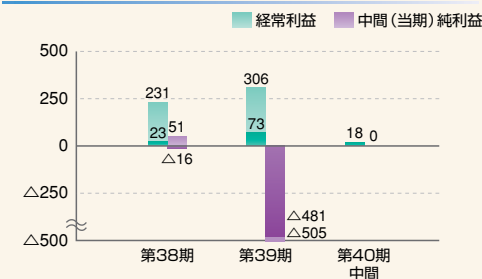
	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成18年3月31日残高	4,090	3,552	800	△ 350	8,041	△ 9	8,032
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当			△ 37		△ 37		△ 37
剰余金の振替			△ 350	350	—		—
中間純利益			△ 26		△ 26		△ 26
自己株式の取得				△ 1	△ 1		△ 1
自己株式の処分			0	0	0		0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△ 43	△ 43
中間会計期間中の変動額合計			△ 387	324	△ 1	△ 64	△ 107
平成18年9月30日残高	4,090	3,552	413	△ 26	7,978	△ 52	7,925

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

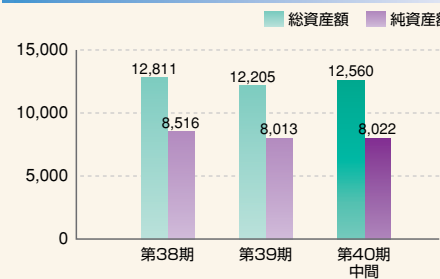
売上高 (単位:百万円)



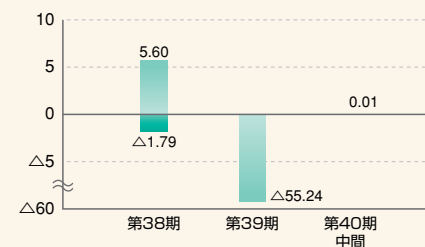
経常利益/中間(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産額/純資産額 (単位:百万円)

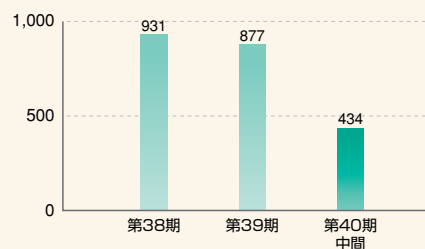


1株当たりの中間(当期)純利益 (単位:円)



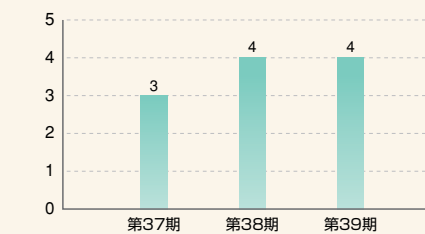
(注)当中間連結会計期間中に1株を2株に株式分割しております。

1株当たりの純資産 (単位:円)



(注)当中間連結会計期間中に1株を2株に株式分割しております。

1株当たりの配当金 (単位:円)



会社の概要

商号 株式会社 コンセック
 英文名 CONSEC CORPORATION
 設立 昭和42年11月6日
 資本金 40億90百万円
 従業員数 247名
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)
 株式会社サンライフ(広島市西区)
 株式会社デンサン(広島県呉市)

主な事業内容 当社はつぎの物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っています。

〔切削機具事業〕
 穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品
 特注機、切削関連機具等

〔特殊工事業〕
 アンカー工事、コアボーリング・カッター
 工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等

〔建設・生活関連品事業〕
 建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器
 生活関連機器等、不動産施設賃貸

〔その他の事業〕
 自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工、
 介護サービス、ソフトウェアの開発および販売等

株式の状況

発行可能株式総数 28,600,000株
 発行済株式の総数 18,640,112株
 株主数 1,432名
 (前期末比7名減)

ネットワーク

本社 広島市西区商工センター四丁目6番8号
 TEL(082)277-5451
 支店 東京、大阪
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、
 岡山、広島、高松、福岡 他21ヶ所
 工場 広島工場
 物流センター 広島配送センター

役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆
 取締役 千 田 稔
 取締役 福 田 多喜二
 取締役 木 曾 真理行
 常勤監査役 吉 本 文 雄
 監査役 加 藤 公 敏
 監査役 中 元 正 彦